

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	「地域に密着したグループホームを目指します」という理念を掲げている	○	運営理念の委員を作り、職員全員で話し合い現在の理念に追加する事柄を検討中
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	食材の買物や、近くの美容室の利用などできることから実施している	○	勉強会などの時に地域のことを話題にして職員間に意識付けを行う
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	理念は玄関に見やすいように表示している。運営推進会議の時に話題にするようにしている	○	地域への働きかけがまだ不十分方法を模索中
2. 地域との支えあい				
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	玄関ポーチに椅子を置いている。時々、散歩途中の人が休憩している。また、玄関前には花を植えている。	○	周囲に住宅がなくあまり人が通らない所だが、前を通る人には挨拶をするなど努力していきたい。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	年に1度、地域の文化祭にバザーで出店している。地域の花火大会に出かけるが、御利用者のレベルや職員の人数を考えるとなかなか参加が難しい。	○	地域の行事にはなるべく参加していきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>地域で普通に暮らすことができることを、周囲に知ってもらえるように実践を重ねていく。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	<p>生活歴については、まだ不十分なので引き続き情報を集める。 人権擁護も、勉強会でテーマとして取り上げていく。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	<p>第三者(外部の方)からの意見は、職員が日頃、気付かないことが多いので参考にしていきたい。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	○	<p>サービスの質の向上のために必要時は、今後も市の担当者と連携をとりたい。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	<p>機会があれば、外部研修に参加し職員全員が必要な知識として習得していきたい。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	<p>職場で気付かないまま虐待につながることをしていないか、考える場としても今後も勉強会で取り上げていく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>ご家族が納得するまで、説明をする。納得するまで契約は行わない 入居後は、ご家族になるべく話しかけて不安の軽減に努めている。</p>	<p>○</p> <p>こちらから声をかけるように心がけている。ご家族が不安などを訴えやすいような雰囲気を作る。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日常の会話の中で御利用者の不満などを聴き、改善している。 運営推進会議にも参加してもらい、外部の方と話す機会を作っている。</p>	<p>○</p> <p>日常の中での御利用者との会話を重視し、認知症があるがゆえに十分に訴えられないことがあることを職員は常に考えていく。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時、支払いに来られた時にスタッフが、最近の状況、健康状態などを説明している。</p>	<p>○</p> <p>運営推進会議の報告書にGH内での出来事を書いて渡している。一人ずつの1ヶ月の状況を記入した様式を検討中。 (ご家族に渡すために)</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に「ご意見箱」を設置している。職員がご家族に積極的に声をかけて、不満などを言いやすいようにしている。不満、苦情に対しては、早急に対応する。</p>	<p>○</p> <p>ご家族が苦情や不満を言いやすい環境作りをしていく。また、それらのことに対してきちんとした対応を心がける。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ミーティング時はもちろんだが、日常の会話の中で、提案や意見を聴き、可能なことは取り入れるようにしている。</p>	<p>○</p> <p>職員が意見を言ったり、提案をしやすい職場環境を作るようにしていく。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>御利用者の状態に合わせて、勤務人数を変更することもある。また、状況によっては夕方方を強化したり、朝方を強化したりと臨機応変に行っている。</p>	<p>○</p> <p>ご利用者の状況に合わせて柔軟な職員体制が取れるようにしていく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人内の異動は実施している。なじみの関係を重んじながら、GHの前進、職員の質の向上を目的に行っている。</p>	<p>○</p>	<p>離職に対する対策が今後の課題だと思う。GHで自分の持っている資格を十分に発揮できるような職場環境を作らないといけないと考えている。</p>
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19</p> <p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>採用時に資格や年齢、性別の限定はない。資格はここで勤務しながら習得するように声はかけている。</p>	<p>○</p>	<p>各職員の能力の發揮が難しいと思う。十分に發揮できてなく、伸び悩んでいる職員が多い。個々の能力が發揮できる職場作りが課題だと思う。</p>
<p>20</p> <p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>研修に参加したり、勉強会のテーマにして、意識付けを行っている。</p>	<p>○</p>	<p>人権尊重は基本となることなので、今後も機会があるたびにテーマとして取り上げていく。</p>
<p>21</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修には、1回/月程度、順番で参加するようにしている。その内容を勉強会で報告し意見交換を行うようにしている。自分の意見を言う場としても、勉強会を位置付けている。</p>	<p>○</p>	<p>外部研修で色々な知識や情報を得てほしいと思っているので、本人の希望を聴きながら研修の参加を促していきたい。</p>
<p>22</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の中で同業者とのスタッフ同士の交流はほとんどとれていないが、GH協議会の勉強会などで少しずつ交流している。</p>	<p>○</p>	<p>当地域にはGHが多いので他のGHとの交流ができればいいと思うがきっかけがみつからない。</p>
<p>23</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>休暇の希望はなるべく、取り入れるようにしている。</p>	<p>○</p>	<p>スーパーバイザー的な人物が必要かと思う。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各自の勤務態度に対して、認めているが表現として伝えてないと思う。難しいことだと思う。	○	個々の向上心を引き出すような、アドバイスが必要になると思う。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	御本人からお聴きすることは少ないが対応はしている。	○	必要時は対応していく。
26 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	御家族と話をする機会は多く持つようにし、不安の軽減に努めるようにしている。	○	今後も同様に対応していく。
27 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	出来る限りの情報を提供したり必要な機関を紹介したりしている。	○	螢の郷の職員が十分に情報を持っておく必要があるため、色々な介護保険のサービスの情報を得るようにしていく。
28 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入居をすることも可能。御家族と一緒に宿泊しながら、慣れて頂く事も以前に行ったことがある。また、入院中であれば、病院に職員が訪ねて行き顔なじみになってから入居という形をとることもある。	○	その時に適した方法で対応して、納得していただくようにする。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	共に生活しながら、相手のことを「介護される人」と見るのではなく「一人の生活者」として位置付けるようにしている。	○	今後も「共に生活する」という姿勢を持ち続けたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えている関係を築いている</p> <p>御家族とは面会時に声をかけるようにしている。そして近況などを伝えて御本人のことをより良く知っていただくようにしている。</p>	○	御本人の対応については、御家族の思いをお聴きしながら、御家族と一緒に支えていくことを続ける。
31	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p> <p>御本人と御家族が、GHでゆっくりと過ごすことができるように支援している。また、今出来る事を伝えて御家族に対応して頂いている(例えば、御家族との外食など)</p>	○	今出来る事を御家族に伝えながら、外出や外食など「御家族とのひととき」を支援していく。
32	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p> <p>入居前に行っていた理髪店に行ったり、友人との食事会に参加できるように援助している。</p>	○	今後も御本人の希望されることは、なるべく支援していきたい。そのためには、御本人との会話を大切にしていく。
33	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p> <p>ご利用者の方には、なるべくリビングで過ごしていただくように声をかけている。</p>	○	体調に合わせて、自室での休息を適宜、取り入れながらリビングで過ごす共有の時間を作っていく。
34	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p> <p>現在、事例としてはないが必要時は対応していく。</p>	○	必要時は対応する。
<p>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>			
<p>1. 一人ひとりの把握</p>			
35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> <p>生活歴や御家族の話を参考にしながら、御本人の意向や希望に近いようにしている。(居室の調度品や食事の好みや外出先など)</p>	○	御本人の思いを引き出しながら意向や希望を重視していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	○	御家族に聞いたり、ご本人に聞いたりして把握している。 入居前にできるだけ情報を集めるようにしている。
37	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	○	ミニカンファや、連絡ノートなどでお一人ずつの情報をスタッフ間で共有するようにしている。 お一人ずつの情報を収集することで生活を心地よくしていく。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	○	ご利用者についてのカンファレンスなどを通じてスタッフ同士の話し合いや御家族の要望などをまとめ、計画に反映させている。 今後もカンファなどを活用し、御本人を尊重した介護計画を作成し実行していく。
39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	○	定期的カンファレンスを行い計画を見直す。また、状態が変化した時にはご家族や関係者の意見を取り入れプランを変更している。 御本人に変化があった時はなるべく早い段階で計画の見直しをしていくようにする。
40	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	○	日々の記録を基に話し合い介護計画に活かしている。 個々の記録がもう少し計画に沿ったものになるようにする必要がある。記録の方法を話し合ったが、まだ不十分などところがある。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	○	GHでは、多機能性はないが同一法人内の他の施設などと連携し必要時は対応している。 今後もGHではできなくても、必要な機関などを紹介し支援していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>GHとしては、地域の消防署や消防団との連携はとっているが御利用者の意向などの面では、取り入れてない。</p>	○	御本人の希望があれば対応していく。
43	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>同一法人内の他の事業所のケアマネからは、福祉用具のことなどの情報交換はしている。</p>	○	必要時は他のサービス事業所に連絡をとって支援する。
44	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>地域包括支援センターとは、運営推進会議の時に出席してもらい情報交換をする程度。まだ協働というところまではしていない。</p>	○	御本人にとって必要時は、地域包括支援センターを活用していきたい。
45	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>母体が病院であるが、入居時にかかりつけ医は変更する必要がないことを説明している。</p>	○	今後もかかりつけ医は、入居後も変更する必要はないことを説明する。
46	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>協力病院に精神科がある。必要時は受診している。</p>	○	必要時は相談していく。
47	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>GHの職員として常勤の看護師を1名確保している。(管理者) 母体の病院の看護師とも外来受診などで、顔なじみになっている。</p>	○	異常の早期発見に努めながら、GHで安心して生活できるように支援していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p> <p>入院時には、文書でGH内での御本人の状態を伝えている。入院中には、病棟と連絡をとるようにしている。</p>	○	入院することで、御本人の生活環境が変わってしまうので、細かい日常の情報を先方に伝えるようにする。
49	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> <p>ご家族と頻回に話をしながら、その結果を職員に伝えてより良い対応を行うようにしている。</p>	○	重度化や終末期はおひとりずつ違うので、ご家族と話しながら対応していきたい。
50	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> <p>看取りの指針を作りご家族に当GHでの対応を、説明している。主治医にも必要時、状態を報告し連携を依頼している。</p>	○	御家族、主治医と相談しながら個々の対応をしていきたい。
51	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> <p>老健や病院に行くことがほとんどだが、必ず先方の担当者との電話もしくは直接会って状態を説明している。文書はもちろん添えている。</p>	○	先方には十分な情報を提供して、住み替えが御本人にとってマイナスにならないようにしえんしていく。
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
52	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> <p>個人の尊厳については、カンファレンスや勉強会で触れるようにしている。</p>	○	入居の方の年数が長いと馴染みの関係と馴れ合いを勘違いしてくる傾向があり、今後も気をつけていかなければいけない。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	○	<p>選択する場面を増やすと同時に御本人に合った選択するための方法を考えていきたい。</p>
54	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	○	<p>いつも全部の職員が意識していないと改善はできない。少しずつでも良い方向へいくように努力する。業務の見直しなども必要。</p>
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	○	<p>なるべく「美容室」の雰囲気を味わいたいため、地域の美容室に行くようにしている。</p>
56	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>できることを職員がしっかりと把握し、いっしょに行うようにする。</p>
57	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	<p>お酒、たばこは御本人の健康状態も考慮しながら、支援していく。</p>
58	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	<p>排泄パターンを掴むことでオムツの使用枚数の軽減にもつながるようにしている。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日、もしくは2日に1度くらいを目安にしているが、できるだけ御本人の希望に合わせて気持ちよく入浴できるようにしている。	○	ゆっくりと入浴を楽しむことができるように、時間帯や入浴方法など考えていきたい。(1対1で、職員とゆっくり話せる時なので)
60	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中は、状態をみながら居室での臥床時間を取り入れている。	○	居室の環境などにも気を配りながら、ゆっくりと休んでいただけるように支援していく。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事に参加していただいたり、プランターの水やりをお願いしたりしている。	○	生活歴が重要な情報になるので、十分に情報収集を行っていく。キーパーソンの御家族以外でも支障のない範囲で、お聴きするようにする。
62	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買物と一緒にいき、ご自分のおやつを購入する時にご自分で支払いをしてもらっている。	○	外出時にご自分で支払いをする場面を作っていきたい。
63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買物や散歩などご希望になるべくあわせている。	○	なるべく御本人の希望を取り入れたい。
64	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	みなさんの希望をお聴きしながら、月に1回程度外出をしている。ご家族と一緒に外出は行っていない。	○	日常の会話の中から、行きたい所などを聴いて外出に取り入れていく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族への電話は最近ほとんどない。ご希望があれば支援している。	○	希望があれば、電話や手紙の支援はしていく。年賀状など季節の便りなども取り入れたい。
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間に制限はないため、いつでも寄っていただくように説明はしている。	○	訪問に来た方が、ゆっくり過すような環境を作る
ほう				
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会では頻回にテーマにしており、常に意識するようにしている。身体拘束はないが、スピーチロックは、知らないうちに使っていると思う。	○	今後も勉強会などでテーマにして常に意識するようになっていく。
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は夜間のみ施錠をする。日中はいつでも外にでることが出来るようにしている。(防犯面で扉にチャイムを付けている)	○	玄関の鍵は今後もかけない方針でいく。(防犯面で問題のない限り)
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中、自室で過ごされている方に対しては訪室し、夜間は定期的に巡室を行い安全確保に努めている	○	御利用者の所在確認は今後も確実にやっていく。(御利用者を管理することではなく、安全確保が目的ということを忘れないようにする)
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬品関係は、眼につかない所に収納している はさみは眼につくところに置いてあるが使用する時は職員と一緒にする	○	危険のないように物品は、収納したり目に付くようにしたり、工夫をしていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p> <p>マニュアルを作り、勉強会でも取り上げたりしているが、まだ不十分だと思う</p>	○	各自が頭の中でシミュレーションができるくらいに勉強会などで取り上げていく
72	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p> <p>緊急時や事故対応のマニュアルは、常時見ることができるようにしている</p>	○	訓練が不十分なので、今後、実施していく
73	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> <p>2回/年の避難訓練を実施している 消防署や地域の消防団とも連携は取れている(不定期だが連絡会がある)</p>	○	色々な場面を想定して、避難方法を身に付けていく
74	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p> <p>ケアプラン説明時を利用し、リスクや対応策を説明している。ご家族の面会時にはなるべく声をかけて、御本人の近況などを説明するようにしている。また、ご家族からの意見もお聴きしてケアに取り入れるようにしている。</p>	○	皆さんの安全と安心を確保するために努力していく。また、安全を優先するあまりに規制だらけにしないように気をつける。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p> <p>毎日、リーダーを置いており、リーダーを中心に確実な申し送りを目指し、体調不良時など早急に対応できるようにしている。</p>	○	リーダーに限らず、誰でもが異変時に対応できるようにしていく。
76	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> <p>日々の記録のファイルの中に服用中の薬の名前と効用を書いたものを入れている。副作用や服用方法で特別な注意が必要な薬は、連絡ノートで全スタッフにわかるようにしている。</p>	○	与薬を嫌がる方が増えて、与薬方法に工夫が必要になってきた。薬の知識をしっかりと身につけて確実に与薬できるようにする。例えばつぶしても支障がないか、甘い物に混ぜて良いかなど。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>乳製品を摂るようにしている。水分も声かけしながらなるべく飲んでもらうようにしている。身体を動かすことは少し不十分。下剤に頼ることが多い。</p>	<p>○</p> <p>体操やゲームなどで身体を動かすことを、もう少し取り入れたい。</p>
78	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後、御本人に口腔ケアをしていただき、その後、スタッフが歯間ブラシなどで仕上げをしている。</p>	<p>○</p> <p>できるところはなるべく、御本人にさせていただくようにする。(義歯をはずす、義歯を洗うなど)</p>
79	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量のチェック表を活用している。備考の欄に食事のときの状態を記入できるようにしている。</p>	<p>○</p> <p>水分量のチェックを行っていきたい。</p>
80	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアルがある。流行シーズンには、マニュアルとは別に重要なポイントを文書で職員に到達している。</p>	<p>○</p> <p>感染症は眼に見えないことなので職員が十分に気をつけて感染源や、媒体にならないようにしていく。</p>
81	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>食材の日付の確認。冷蔵庫内、常温食材のストックなど、1回/週、確認をしている。調理用具は塩素系ハイターでの消毒、食器乾燥機で高温での乾燥などで対応している。</p>	<p>○</p> <p>食材は日付に頼りすぎることがないように、自分の嗅覚、視覚、触覚などをフルに活用し、厳選していく。「安全」を最優先する。</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
82	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>玄関周囲にはプランターで花を植えている。看板や標識がないため近隣の方からは「あそこは、何だろう」とよくいわれている。近隣の方に親しみを持っていただくには、まだまだ時間が係ると思う。</p>	<p>○</p> <p>玄関ポーチには椅子を置いて、休憩できるようにしている。少しでも近づきやすい環境を作っていく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	○	生活感、季節感を感じるためには職員の意識を変える必要がある。
84	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	○	廊下に椅子を置くなどをして、一人の時間を過ごすスペースを作ることも必要だと思っている。一人で過ごしているけど、職員の見守りはできているという状態を作ることができればいいと思う。
85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	○	御家族にお聴きしたり、御本人の希望を入れたりしながら住みやすい環境作りをしていく。
86	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	○	「暑い」、「寒い」を少し感じることも必要だと思う。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	○	一つでもご自分でできることが、増えるように建物内部には工夫をしていく。
88	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	○	お一人ずつの状態の把握を充分に行い、適した対応をしていく。
89	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	○	一緒にできる方が限られているため、他の方も参加できるように、方法を考える。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②少しずつ増えている
		○	③あまり増えていない
			④全くいない
100	職員は、生き生きと働いている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)